

学校推薦型・総合型選抜の出願始まる。

文責 学校長



～小論文・プレゼン・面接対策の指導もスタート～

1 志望学部別お薦めの本を掲示しています。

「志望学部別お薦めの本」を校内（2階・3階・校長室前）に掲示しています。3年生は、新制度推薦入試の小論文・面接試験対策として、一冊でも多くの本を読んで教養の幅を広げて試験に臨んでください。また、1・2年生は、志望学部に関連する専門書・小説を読んで志望学部や文理選択が自分に合っているか、興味が持てるかの判断の一助としてください。



2 新人戦真っ盛り(第3弾)・・・女子バスケ・バドミントン(団体)・卓球(団体)で熱戦！ ～女子バスケット部・女子バドミントン部(団体戦)は第3位に輝きました～

30日(土)・1日(日)に新人大会が開催され、本校はベスト4に駒を進めた女子バスケット部が第3位に、野中咲希さん(2-5)が優秀選手賞に、女子バドミントン部が団体第3位に輝きました。



3 今週の話成語・・・「呉越同舟」

【問題】「呉越同舟」を英語で表現すると？また、同義の四字熟語は？

仲の悪い者同士が同じ場所にいあわすこと。敵同士が共通な困難にあたってお互いに協力し合うこと。(出典：『孫子』九地篇より)

【由来】『孫子』の兵法書にある一節で、その書き下し文は右の紹介の通りです。これを現代語訳すると次のようになります。「配下の兵士たちをうまく統率する者というのは、たとえば卒然のようなものである。卒然とは、常山にいるという伝説上の蛇のことだ。その首を攻撃すると尾が迫ってくる。尾を攻撃すれば頭がくる。胴体をせめれば頭と尾が同時にかかる。あえて聞こう。軍隊を卒然のような状態にできるか？できる！呉の人と越の人は互いに憎しみあっているが、同じ舟に乗って風が吹いてきたとすれば、まるで左右の手のように助け合うであろう。」この話の中では呉の人と越の人が憎み合っているが、同じ舟に乗って嵐にあったら、協力せざるを得ない。だから、大将たる者は、部下をそのように持っていけ、という話です。性格の違うあいつと、こいつ、どうも、そりがあわない。そこであえて一つのプロジェクトに当たらせることで、協力させる。そういう話です。「人を動かそうと思ったら動かざるを得ない状況に追い込む」これは『孫子』全体をつらぬく根本的な考えです。(参考：「孫子の名言」より)

【書き下し文】
善く兵を用うる者は、譬えば率然のごとし。率然は、常山の蛇なり。其の首を撃たば則ち尾至り、其の尾を撃たば則ち首至り、其の中を撃たば則ち首尾俱に至る。敢えて問う、兵は率然のごとくならしむべきかと。曰く、可なり。夫れ呉人と越人と相悪む。其の舟を同じくして済るに当たりて、風に遇わば、其の相救うや、左右の手のごとし、と。

4 今週の名言・・・本田宗一郎氏(静岡県出身)の言葉です。

○身のまわりになくとも転がっている幸福から自分のものを選び出し、それを最高のものに高めることだね。時間だけは神様が平等に与えて下さった。これをいかに有効に使うかはその人の才覚であって、うまく利用した人がこの世の中の成功者なんだ。

○少しでも興味を持った事やってみたいと思った事は結果はともあれ手をつけてみよう。幸福の芽は、そこから芽生え始める。

【解説】一代でHONDAを創業した本田宗一郎氏の人生哲学が窺える言葉です。彼は、人の喜ぶ商品づくり、すなわち「モノづくり、車づくり」という仕事を、「心底愛し、信じて身をゆだね、そして楽しんでいた」人です。次の時代を担う若者に向けて「どうか、この難しい21世紀、皆さんが、その困難さえも楽しみながら、自らを切り開いていかれることを期待してやまない。」というメッセージを残しています。

【本田宗一郎について】HONDAの創業者。1922年高等小学校卒業。自動車修理工場に勤めて修理技術を修得。1928年浜松市で自動車部品製造会社設立。1948年本田技研工業を創立。自転車の補助エンジンから始めてオートバイ生産に着手、1963年には四輪車製造に進出。1959年よりオートバイの国際レース、1964年よりF1レースに参加、「ホンダ」の名を世界的にした。「会社は一族のものではない」として、1973年社長引退。

5 入試によく出る漢字・・・『訓読語ベスト200』から・その5 いくつか書けますか？

- ①世間をハバカって生きる。
- ②土地の売買でモウける。
- ③弱いものをイジめる。
- ④先生の話のカシコまって聞く。
- ⑤欲に目がクラむ。
- ⑥行く手をサエギる。
- ⑦暑さで気力がナえる。
- ⑧傷口をエグる。
- ⑨馬が一声イナナク。
- ⑩顔を赤らめてウツムく。
- ⑪門をフサいで閉じこもる。
- ⑫情にホダされる。
- ⑬彼はウヌボれが強い。
- ⑭アイデアがヒラメク。
- ⑮ウガった見方をする。
- ⑯他人の幸福をネタむ。
- ⑰お花やお茶をタシナむ。
- ⑱いまさらモガいても追いつかない。
- ⑲病気をワズラう。
- ⑳泣いてもワメいてもどうにもならない。

6 今週の一冊・・・生源寺眞一・太田寛行・安田弘法氏の『農学が世界を救う』(岩波ジュニア新書)です。

研究対象は、地球全体から顕微鏡で見る世界まで! 人びとの暮らしを豊かにし、自然環境を保全し、生物たちの役に立つ。そんな可能性を秘めた夢のある学問——それが「農学」です。本書では、農業経済学、生命科学、食料や環境科学など、農学に含まれるさまざまな分野の第一人者が、その研究成果や未来を語ります!

(参考:本書裏表紙説明より)

【解説】この本を読めば「農学が世界を救う」というタイトルが決して大袈裟なことではなく、環境問題、食糧問題、絶滅危惧種、異常気象そしてSDGs(持続可能な開発目標)の目標達成にも資する重要な鍵が農学に隠されていることがよくわかります。農学と言ってもその分野は広く、自然科学はもちろんのこと経済学や社会学などの人文社会科学の成果も活用しながら、食糧・生命・環境の様々な問題を解き明かすことを目指す幅広い学問分野です。**日本を、世界をそして地球を救う究極の学問分野**と言えるかもしれません。

【作者について】生源寺眞一氏・・・1951年生。東京大学農学部卒業、農学博士。専門は農業経済学。国の研究機関で農業の現場と密に交流し、東京大学・名古屋大学で教鞭をとった経験をベースに、現在は福島大学に農学系学部を新設する仕事に従事。

太田寛行氏・・・1954年生。東北大学大学院農学研究科博士課程修了、農学博士。現在、茨城大学農学部教授。土壌微生物に焦点をあて、三宅島火山噴火後の環境再生や、畑地での農法と温室効果ガス発生の関係等を研究している。

安田弘法氏・・・1954年生。名古屋大学大学院農学研究科博士課程修了、農学博士。現在、山形大学農学部教授。自然のバランスの機構の解明をライフワークとし、現在は、無肥料・無農薬・無除草剤で淡水生物の機能を活用しておいしいお米を多く収穫する研究に従事。

7 日本全県の名所とスイーツめぐり…第29回は静岡県です。

○名所

(参考:「ぐる旅」その他より)

◆富士山・・・静岡といえばやっぱり**世界文化遺産**に認定された「富士山」。県内各所から眺めることができますが、中でも有名な**田貫湖**は富士箱根伊豆国立公園内に位置し、風光明媚という言葉がピッタリ! 休暇村富士前の展望デッキや南テントサイトの岬は、入り江のような地形で波が立ちにくく、**逆さ富士**が見えやすいスポットです。水面に富士山が鏡のように映し出される「逆さ富士」や、朝日や夕日によって赤く染まる「赤富士・紅富士」、富士山頂から日が昇る「**ダイヤモンド富士**」など、変化に富む富士山を眺めてみませんか? 日本一の高峰で昔から日本人の心のふるさととして親しまれている名山。頂上までの所要時間は、登山が5～7時間、下山は2～3時間。お山開きの催しが**富士宮浅間大社**にて毎年7月に行われています。

◆三保の松原・・・静岡市清水区にある「三保の松原」は1922年(大正11年)に全国で初めて国の名勝指定を受けた松原です。また福井県敦賀市・**気比の松原**、佐賀県唐津市・**虹の松原**とともに**日本三大松原**のひとつに、その名を連ねています。2013年(平成25年)に富士山が“信仰と芸術の源泉”として**世界文化遺産**に登録されました。富士山世界文化遺産の25の資産・要素で構成されています。「三保の松原」も、その構成資産のひとつです。古くから絵画や和歌に、三保の松原と富士山の関係性が数多く残されていることが評価されたためだと考えられています。富士山との景観や松原の壮麗さは、古来より人々を魅了し、様々な芸術作品にも残されてきました。特に秋から冬に掛けて空気の澄んだ時期は、鮮明な富士山を拝めます。

○スイーツ・土産

【うなぎパイ】(春華堂)昭和36年の誕生時からずっと職人さんが、ひとつひとつ丁寧に手作りしているお菓子です。原材料は、フレッシュバターと厳選された原料にうなぎエキス、ガーリックなどの調味料をブレンドしたシンプルなものです。仕上げに、社内でもごく一部の者しか知らないと言われる秘伝のタレを塗って完成させているそうです。春華堂では、「うなぎパイ」などの銘菓の販売のほか、**うなぎパイファクトリー**の見学やカフェサロンでの飲食もできます。

【安倍川もち】静岡土産としてロングセラーの定番となっています。その歴史は古く、400年ほど前、**徳川家康**が安倍川近くの茶屋に立寄った時、店主がつかたての餅に安倍川でとれる砂金に見立てたきな粉をまぶし、「**安倍川の金な粉もち**」として献上したのがきっかけと言われています。

8 保護者の皆様へ…全国総文祭の生徒作品展が開催されます。

11/3(祝)～15日(日)の日程で、「**2020こうち総文祭**」に選抜・出品された生徒の作品展が**佐賀ハルーンミュージアム**で開催されます。本校生徒の作品もあります。是非お立ち寄りを。

表面の問いの答】「Bitter enemies in the same boat」(同じ舟に乗る憎い敵)。同義の四字熟語は「**共同戦線**」・「**大同団結**」などがある。

① 憚 ② 儲 ③ 苛 ④ 畏 ⑤ 眩 ⑥ 遮 ⑦ 萎 ⑧ 抉 ⑨ 嘶 ⑩ 俯
⑪ 塞 ⑫ 絆 ⑬ 自惚 ⑭ 閃 ⑮ 穿 ⑯ 妬 ⑰ 嗜 ⑱ 踬 ⑲ 患 ⑳ 喚

